

文芸欄



俳句

宝愛句らぶ(中央区)
カピバラや柚子風呂入りて目を細め
みかん山崩して積んで幼子は
今年こそアレに喜ぶ年の暮
年の瀬や物見遊山の京歩き
寒風に吹かれ思わず年想う
翻る鳥の羽きり冬晴るる
柑皮症なりてまだ食うみかんかな
寒空やビルの谷間に陽が沈む

梅の美会(兵庫区)

四世代揃って姦しお正月
青き空手摺にもたれて日向ぼこ
丹波路や谷間隠れの名残雪
七五三曾孫の晴着スマホから
寝疲れて火燵蹴り出すコロナゆえ

高原ささゆり会(北区)

いざ火事ぞとびら開ければもみじ燃ゆ
島の秋潮の匂ひ海光る
亡き人の自慢の根深風に揺れ
百八の煩惱消えていわし雲
口中の山菜の香や春浅し
春来たる回覧板に犬が吠え
夜半の雨沈丁花の香地に沁みて
三月や思ひ届かぬ猫の声

ひまわり句会(北区)

粕汁に酔ひし顔面赤くなり
救急車に家族に感謝年の暮
ひよどり句会(北区)
冬支度逸る心に追いつかず
若き日の想い出多き冬の山

花山短歌会(北区)

竹林の竹に守られ椿立つ清らかな青葉小さきつぼみの
亡き友の写真出でこし懐かしきビールを前にピースしてをり
冬近し木瓜が一輪咲いてはいる明るいあしたを占うがごと
毎日の朝の散歩に最近はどこを回るかと楽しみふえる
外は雨シート倒して今宵の空木星光る明石天文台プラネタリウム
花活けてにぎりし挟み置きて見る黄菊の映ゆる紫のつぼ

巫女の舞瞳こらして七五三
但馬路は朝霧深く山覆ふ
落ちそうにして一葉にもある力

北斗句会(北区)

電飾の出船入船降誕祭
連休の坊ちゃん電車瀬祭忌
旨味増す昨日のおでん妻の留守
予定日を早め出産クリスマス
晩学の遅々と足踏み石路の花
献立のメモある厨古曆
宿坊の苔むす句碑や石路の花
地図広げ枕の上の秋の旅
花びらが寄り添い合って石路の花

見山台新樹会(北区)

卒寿すぎ生きてましたと年賀状
蚊柱が冬の夕日に舞い上り
一枚のこよみ眺めし年の暮
こんもりと落葉布団の植木鉢
元日や箸袋には鶴と亀
三ヶ日彼の地震の日のよみがえり
八十路半ば感動のなき新年
師走に来た入籍の報孫の声

きらく句会(西区)

シネマ出て暖簾くぐりておでん酒
初詣子どもみくじは大吉に
孫の名をつぶやき選ぶポチ袋
祈禱終え焚火を囲む輪に馴染む
行く年のゲーム三昧ロゼの味
初日の出神の社はスマホスマホ

個人

木の芽和え蒔絵漆器に盛る想い
紅葉映え姫路城や水鏡
二つ三つ心に春の夢を抱く
水再三喉越さぬ薬老ひを知り
龍のひげ根につらなるや瑠璃の玉

筒井 豊子
中井 光子
矢谷登美子

黒田 久江
増田 嗣夫
秋山 弘之

松本 洋子
久松 礼子
岸下 庄二

脇坂有多子
小段 安徳
西島 静江

丸尾 嘉子
藤田 和夫
松隈 弘子

佐溝満喜子
高石 勝行
貞永 弘子

石本 宏一
吉田 勲

喜田 弘征
阪本 道子
田野 育利

森本 珠実
大橋 治子
尾上 正紀

北田 建樹
福井 悦子
山上 幸子

植田きみ子
山田キミ子

草紅葉夕日に映えて子等帰る
恃みたる一品足らぬ日の大根
爽やかやプラスバンドのトランペット
冬夕焼けビュースポットへ歩幅伸ぶ
雨にぬれ枯葉散らずに道染まる
ポール追う老人集ふ日向ぼこ
アレアレと今年もすぎて春を待つ
小春日や下駄履き夫婦散歩道

水口 映子
高橋 純子
福本 和恵

大上 昭敏
木村 敏博
山田としゑ

芝田 律子
寺岡 洋子

荒木 宗Q
京念久美子
笹岡 淑子

杉尾 悦子
大和ケント

あきら
かほう
よし

三茶
まさこ

早川キミエ
増田 芳之
かんいち

北野 利一
宮内美栄子
小高 肇

藤長 文子

清水 久子

川柳

桂木ひふみ会(北区)

一千億画面はみ出すあの笑顔
逝く時は満面笑みで門くぐる
豊麗線下がって老けて嫌気さす
「久しぶり」顔は分るが出勤前
五年前の免許証見てはこれ誰か

筑栄会(北区)

遅れ来る友へ河豚刺しちよい残す
歳を経て色の違いは口紅に
紅白のまんじゅう食べてごきげんね
紅白は幕・饅頭 歌合戦
また仕舞うきつと着ることない服を

個人

疲れたねうたたねばかりのバス旅行
冷蔵庫なぜに前立つ二度三度
いざなわれここに生きおる人生ぞ
井戸堀政治家今はもういないね
地いき猫々ミ声だけの大げんか
年金日指折り数え孫が待つ

へなぶり

ご用心データービスの借り貸しは
思い込んだら老化の病

水口 映子
高橋 純子
福本 和恵

大上 昭敏
木村 敏博
山田としゑ

芝田 律子
寺岡 洋子

荒木 宗Q
京念久美子
笹岡 淑子

杉尾 悦子
大和ケント

あきら
かほう
よし

三茶
まさこ

早川キミエ
増田 芳之
かんいち

北野 利一
宮内美栄子
小高 肇

藤長 文子

清水 久子

とっておきの作品
「春」
[北区]中里楽山会 安井 明美
Two illustrations of pink and purple flowers.

あとがき
見え隠れする春の兆しに心が躍る今日この頃、皆様お変わりありませんか。新年度の始まりは、新たな出会いと会員増強の機会と捉え、皆様一人ひとりがさらに積極的に老人クラブの魅力地域に発信してほしいと思います。そのためにも、まずは自ら活動に参加し楽しむことが大切です。みんなで地域に老人クラブの輪を広げましょう。

「とっておきの作品」募集中
会員の皆様から絵はがき&色紙絵を募集しています。必要事項を記入したものを同封の上、作品をお寄せ下さい。
《必要事項》
①氏名(ふりがな) ②クラブ名 ③題名
④郵便番号 ⑤住所 ⑥電話番号
※葉書サイズ(100mm×148mm以内)・色紙サイズ(242mm×272mm以内)をお願いします。それ以外は受付できません。
※作品は随時ご返却いたしますが、長期間お預かりする場合がありますのでご了承ください。
※作品は丁寧に扱いますが、損傷については理由のいかんに関わらず、一切の責任は負いません。
《宛先》
〒650-0016 神戸市中央区橋通3-4-1
KOBEシニアクラブ
「とっておきの作品」係